

- 化石燃料や化学農薬の使用を低減して生産したハウスみかんについて、慣行栽培のハウスみかんと区分して管理し、流通させることで付加価値の向上を図る。
- 公設卸売市場等を通じて全国の消費者への流通・販売に取り組み、付加価値の向上で得られる利益を生産者に還元することで、環境負荷の低減に取り組む生産者を支援する。

【主な事業内容】

ヒートポンプを活用した省エネ型温度管理や、天敵を活用した農薬の使用低減により、環境負荷を低減して生産したハウスみかんの流通を合理化する（付加価値を向上させる）ため、

- ・ 選果機を導入して慣行栽培のハウスみかんと区分管理し、化学農薬が付着することを防ぐこと等により、付加価値の向上を図る
- ・ 公設卸売市場等を通じて全国の消費者への流通・販売を目指す
- ・ 栽培マニュアルを普及するとともに、付加価値の向上で得られる利益を生産者に還元することで、環境負荷の低減に取り組む生産者を増やす

【主たる事業所の所在地】

大分県杵築市

【計画の実施期間】

令和6年8月 ～ 令和11年7月

【活用する支援措置】

導入設備へのみどりハード事業※の活用

※みどりの食料システム戦略緊急対策交付金（R5補正）のうち
環境負荷の低減に寄与する資材の生産基盤強化対策



区分管理のために導入する
選果機のイメージ



省エネ型温度管理等により
生産されたハウスみかん